

# Go-Tech (旧サポイン)事業提案支援のご紹介

ふくおかISTでは、新製品や新技術の開発のため、令和5年度のGo-Tech事業※に挑戦するものづくり中小企業を、事業提案から採択後の事業完了まで支援します。制度の内容から提案内容のご相談まで、様々なご質問にお答えします。

**無料**  
相談対応から  
提案支援まで  
無料で行います



## ※ 成長型中小企業等研究開発支援事業(経済産業省) (通称:Go-Tech事業)とは？

中小企業等が大学・公設試等の研究機関と連携して行う研究開発、試作品開発および販路拡大への取り組みについて支援する、経済産業省の補助事業です。以下の「特定ものづくり基盤技術」に該当する取り組みが補助対象となります。

**【通常枠】3年間で最大9,750万円(2/3補助)**  
**【出資枠】3年間で最大3億円(ファンド出資が条件)**

補助事業の対象となる「特定ものづくり基盤技術」

※ どの技術分野に該当するかご不明な場合は、ふくおかISTにご相談下さい。

デザイン開発	情報処理	精密加工	製造環境
接合・実装	立体造形	表面処理	機械制御
複合・新機能材料	材料製造プロセス	バイオ	測定計測

### 【お問い合わせ】

公益財団法人 福岡県産業・科学技術振興財団(ふくおかIST)  
研究開発支援グループ 古賀、石川  
TEL:092-832-7155、E-mail:ken1@ist.or.jp  
(ホームページ)https://www.ist.jp

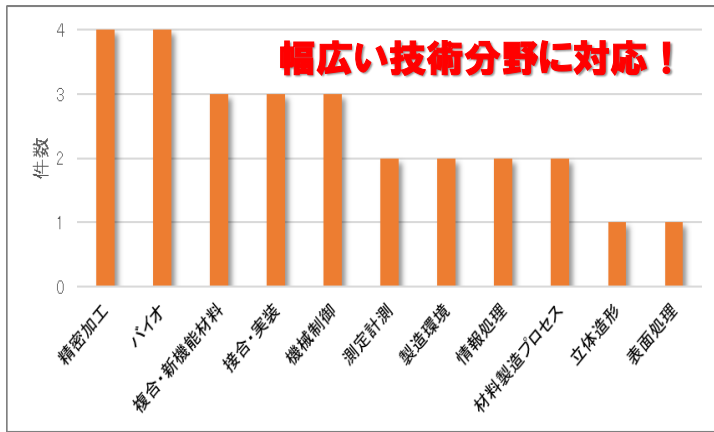


# ふくおかIST サポイン事業管理実績

## 過去10年のサポイン採択件数と採択率

	提案数	採択数				採択率(%)	
		全国	九州	福岡	IST	全国	IST
H25	545	61	7	5	2	11.2	25.0
H26	387	150	11	8	4	38.8	57.1
H27	326	143	14	9	5	43.9	71.4
H28	287	113	16	11	4	39.4	100.0
H29	297	108	12	5	3	36.4	100.0
H30	334	126	14	6	2	37.7	66.7
R1	304	137	14	7	3	45.1	100.0
R2	326	106	6	1	1	32.5	100.0
R3	247	60	6	3	1	24.3	50.0
R4	320	132	12	6	2	40.0	100.0

**全国平均と比べて高い採択率！**



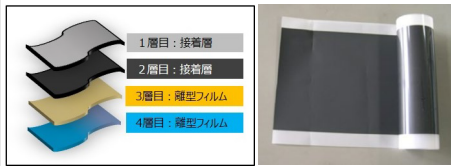
**幅広い技術分野に対応！**

過去10年の採択課題の技術分野(ふくおかIST分)

## ふくおかISTが支援した研究成果事例

### 加硫接着フィルム ACULAH 中島ゴム工業(株)

- ・金属とゴムの新たな積層加硫接着工法
- ・加硫接着剤をシート化
- ・接着時のVOCを削減、低コスト
- ・防振ゴム、ケミカルタンク、鋼管ライニング等へ活用可能

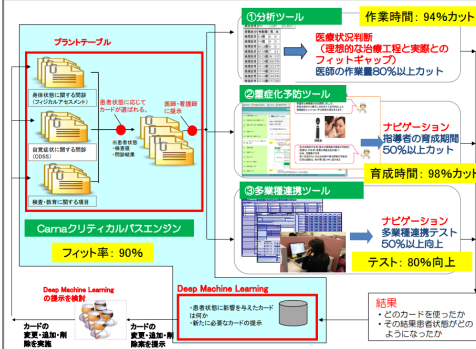


ACULAHの材料構成

ACULAH外観

(H23~25年度)

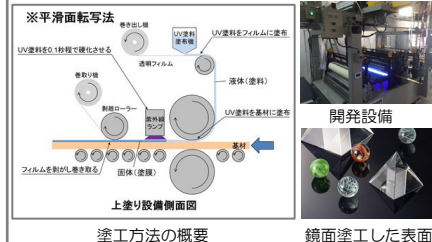
### クリティカルパス [高齢社会に対応した地域包括ケアシステム] (株)カルナヘルスサポート



(H27~29年度)

### 研磨レス鏡面塗装技術 (株)イシモク・コーポレーション

- ・木質材料への鏡面塗装技術
- ・平滑面転写法による処理装置を開発
- ・低コスト、高耐久性
- ・表面最大粗さ0.5μm



(H27~29年度)

### セラミドドレッシング 福岡県醤油醸造協同組合



(H27~29年度)

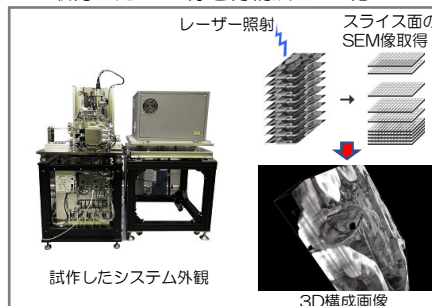
### ミニマルマスクレス露光装置 (株)ピーエムティー



(H27~29年度)

### CT-SEM (株)TCK

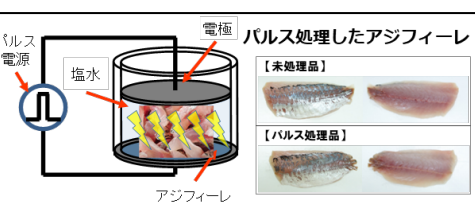
- ・生体組織をレーザーでスライス
- ・取得したSEM像を再構成し3D化



(H28~30年度)

### アニサキス殺虫装置 (株)ジャパンシーフーズ

- ・パルス大電流によるアニサキス殺虫処理
- ・処理による生食品の見た目や食感等に变化なし
- ・自社の生食用刺身「アジフィーレ」のアニサキス殺虫に活用。



(H30~R2年度)

### 超硬製ガラスレンズ金型 (株)ワークス

- ・ナノ多結晶ダイヤモンド製工具を開発
- ・超硬製広角ガラスレンズ金型を開発
- ・コア金型、スリーブ金型、非球面金型を加工可能
- ・0.1mm径、視野角150°のガラスレンズに対応

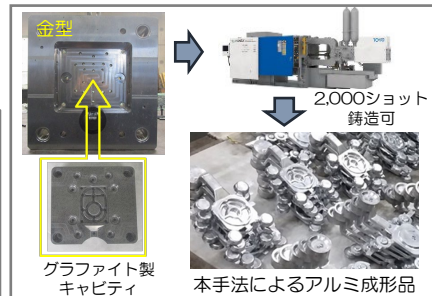
→ 車載カメラ等への採用を目指す。



(R1~R3年度)

### グラカスト (株)明和製作所

- ・グラファイト鑄型を使用し低コスト化。
- ・少量多品種の生産に対応。



(R1~R3年度)